

## 原文

四国連合艦隊の編制が、幕府による長州征伐を直接の契機とするかのように誤解するおそれのある表現である。

幕府は、朝廷に長州藩<sup>ついきょう</sup>追討の勅許を出させて、薩摩藩などを動員して長州征討（第1次）を開始した。

尊攘派への報復をねらっていたイギリス・フランス・アメリカ・オランダは、この機会をとらえて四国連合艦隊を編制し、長州藩の下関砲台を攻撃した。長州藩内では、保守派が藩政の実権をにぎって幕府に降伏し、列強とも講和をむすんだ。また4か国は貿易の拡大

## 修正文

幕府は、この行動に出た長州藩を朝敵<sup>あしたてき</sup>として、朝廷に征討<sup>せいとう</sup>令を出させ、諸藩に出兵<sup>しゅつべい</sup>を命じた（第1次長州征討）。一方、攘夷実行による砲撃で損害をうけたイギリス・フランス・アメリカ・オランダは、四国連合艦隊を編制して長州藩の下関砲台を攻撃・占領した。大打撃をうけた長州藩では、保守派が台頭<sup>たいとう</sup>して幕府に恭順<sup>きょうじゆん</sup>の意を示して降伏したので、征長軍は戦わないまま撤兵<sup>せつぺい</sup>した。ついで長州藩は列強とも講和をむすんだ。

また4か国は、貿易拡大